

## 瑞穂町の図書館をみんなで考え・つくるワークショップ実施レポート

第1回<基本編 1>：「場としての図書館」「図書館でできること、やりたいこと」を考えよう

■日時：2019年9月7日（土）13:30～16:00（13:00 開場）

■開催場所：瑞穂町ふれあいセンター 大会議室2、大会議室3

■参加人数：33名

### 実施スケジュール

瑞穂町の図書館をつくる～図書館という体験をデザインしよう～  
瑞穂町の図書館をみんなで考えつくるワークショップ：第1回<基本編 1>  
「場としての図書館」「図書館でできること、やりたいこと」を考えよう

01 第1部 オリエンテーション：13:30 - 14:00

- 1) [全体] あいさつ・瑞穂町図書館のこれからの動き：町田館長（5分）
- 2) [全体] 図書館協議会メンバー紹介（会長あいさつ）：町田館長（9分）
- 3) [全体] ファシリテーター紹介：町田館長（1分）
- 4) [全体] ワークショップ・オリエンテーション：ファシリテーター（15分）

02 第2部 発見しよう、共有しよう：14:00 - 14:25

- 1) [チーム] チーム内自己紹介（5分）
- 2) [チーム] 瑞穂町図書館を歩いて観察しよう（20分）

<休憩（10分）>

03 第3部 創造しよう、整理しよう：14:35 - 15:30

- 1) [チーム] 「場としての図書館」「図書館でできること、やりたいこと」を考え、書き出してみよう（35分）
- 2) [チーム] 今日、発見創造したことを共有し、みんなでシートにまとめよう（20分）

04 第4部 発表：15:30 - 16:00

- 1) [全体] 発表（20分）
- 2) [全体] 感想：設計者、町田館長（10分）
- 3) [全体] 写真撮影

### 取り組んだテーマ

1  
場としての図書館

- a. 新しい図書館はどんな場であつたらいいでしょう？
- b. それを実現するにはどんな課題があるでしょう？
- c. また、みなさんはどんな協力ができますか？

2  
図書館でできること  
やりたいこと

- a. 新しい図書館でどんなことができたらいいでしょう？
- b. それができるようになるためにはどんな課題があるでしょう？
- c. また、みなさんはどんな協力ができますか？

## 各班のまとめ

### A 班

#### <場としての図書館／図書館でできること、やりたいこと>

- 「いやしの場」「ふれあいの場」など、場としての図書館への多様な期待が語られた。
- 「学びの場」については、自習室利用だけでなく、「学びの場」に「遊び」の要素を加えるなど、多様な学びの可能性について意見交換があった。
- 近隣の自然とのつながりや、温室（植物）に親しめるスペースなどを求める意見も見られた。
- 本の達人に出会えたり、同じ本について語り合えたり、本を通じた交流に関心が示された。
- 年齢に応じて、子どもたちの勉強をサポートできると、小学校高学年～中高生の利用があるのではないかと提案があった。
- 周辺環境と関連して、コーヒーの提供や飲食できるスペースへの希望もみられた。

#### <ワークショップの風景>



#### <模造紙と付箋>



## B 班

### <場としての図書館／図書館でできること、やりたいこと>

- 個人で静かに利用する場だけでなく、サークルやグループでおしゃべりしながらの利用もできる場と両方の場が求められている。
- 子どもたちが勉強できて、それを支えるプログラム（読み聞かせや勉強会）も必要との意見も出た。
- 郷土資料だけでなく、イベント情報や行政情報などがわかり、町の外の人も訪れる場としての可能性も指摘された。
- Wifi や 5G へのアクセス、デジタルコンテンツなど、新しい ICT にふれたいとの希望も出た。

### <ワークショップの風景>



### <模造紙と付箋>



## C班

### <場としての図書館/図書館でできること、やりたいこと>

- おいしいコーヒーを飲みながら読書や会話ができる場という意見は共通するイメージとなっていた。
- 館内の面積を増やせなくても、テラスなどを設けることで、斜面や木々などの自然環境を活かした、居心地のよい空間にできるのではないかと具体的な案もあった。
- 本を書きたい人のための講座や、子育て世代の交流、読んだ本の感想を話し合えるなど、人の交流を促進するためのプログラムについての意見も見られた。

### <ワークショップの風景>



### <模造紙と付箋>



## D 班

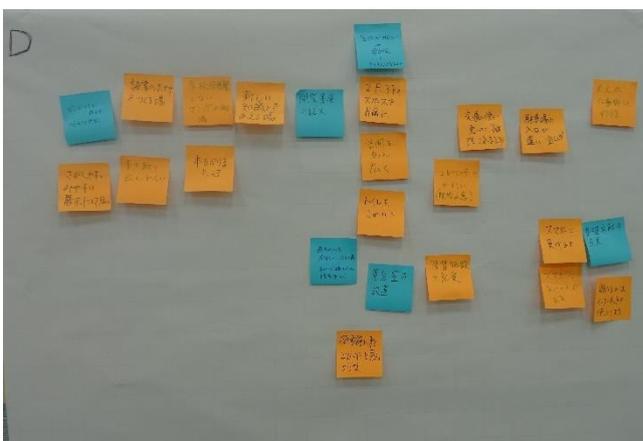
### <場としての図書館／図書館でできること、やりたいこと>

- 図書館の基本は本にあるので、蔵書がしっかりしていて読みたい本が見つかることが大切で、そのために展示の工夫が必要という意見が出て、支持されていた。
- 一方で、調べものはスマートフォンに置き換えられているので、それに置き換えられない空間としての魅力として、多世代交流やグループ利用、イベントの開催などが提案された。
- 図書館 PR も必要との意見もあり、図書館のイメージを明るくする取組や、スマートフォンやインターネットでの情報発信などが具体的に挙げられた。

### <ワークショップの風景>



### <模造紙と付箋>



## E 班

### <場としての図書館／図書館でできること、やりたいこと>

- 豊かな自然環境と一体感のある図書館という場についていろいろな意見が出て、裏山でのホテルの観察やプラネタリウムの併設などのアイデアが出された。
- 多様な年代のさまざまな利用者にかかれた場として、子育て中の人や乳幼児をはじめ、誰でも気兼ねなく利用できる場所が求められていた。
- 居場所としての機能だけでなく、勉強のサポートや専門的な知識や地域資料の提供、おすすめ本の紹介等、図書館ならではの機能やサービスの提供も不可欠だと考えられている。

### <ワークショップの風景>



### <模造紙と付箋>



<集合写真>



以上